

*Fujica* 35

*Automagic*



INSTRUCTIONS ●

**フジカ35オートマジック** の使い方

お買い上げありが

とうございます

フジカ 35 オートマジックは次のように大きな特長を備え、どなたにも「写真のやさしさ」と楽しさをお約束するカメラです。

(1) 操作を最も簡便にするために3つの完全自動機構を組込んであります。

すなわち、

○絞りが自動的に調節される。

○シャッター速度が自動的にきまる。

○撮影できる明るさかどうかが自動的に表示される。

(2) この自動機構にふさわしく、外観も思いきって簡潔、スマートに仕上げた近代的センスのカメラです。

(3) 非常に軽量で行楽のおともには絶好です。

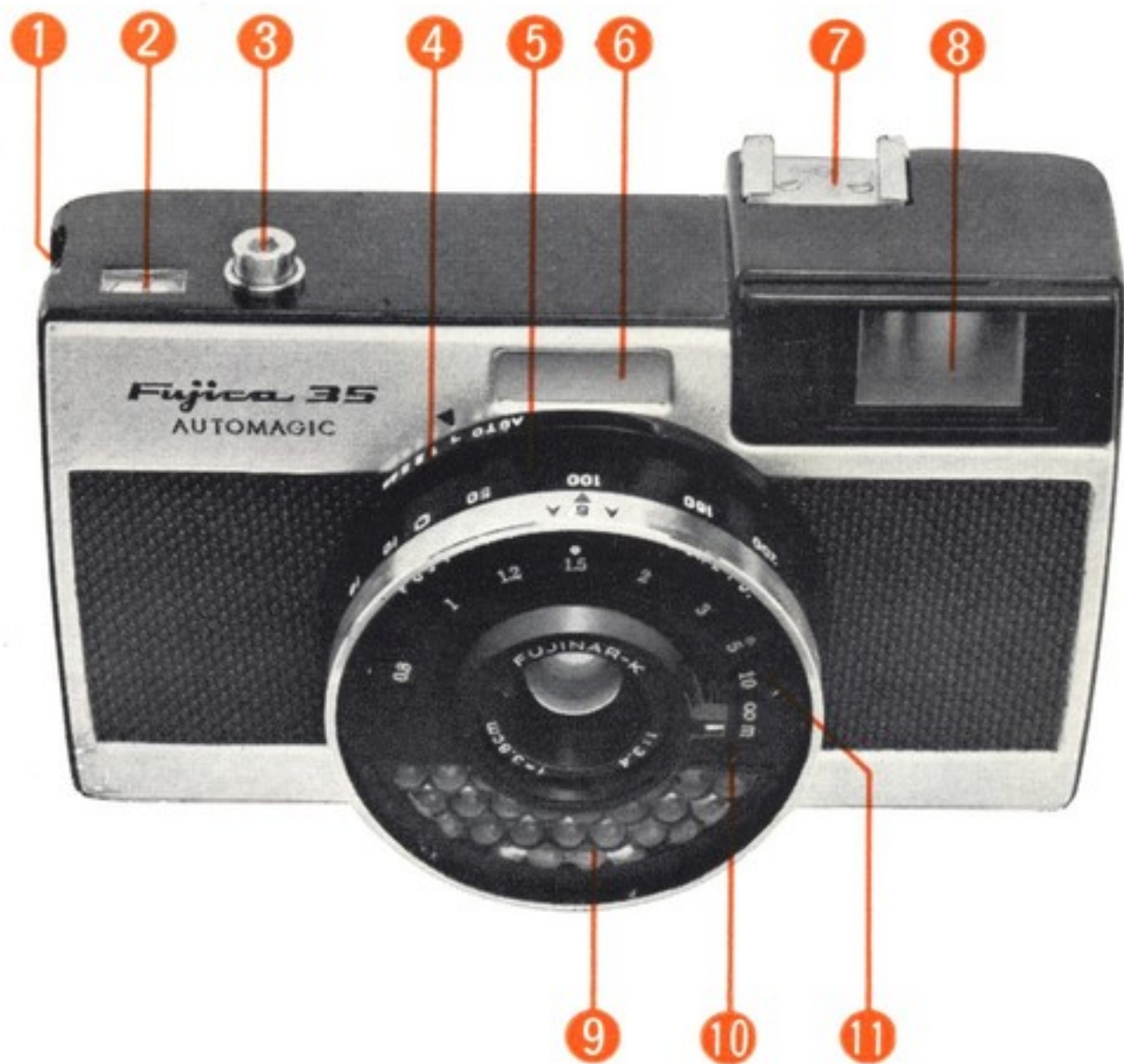
## フジカ 35 オートマジックの機構

レ	ン	ズ:	フジナー-K 1:3.4 f=38 mm						
絞	り	目	盛: なし。ただし、フラッシュ撮影の ための番号目盛付 1, 2, 3, 4, 5 (F4~F16)						
シ	ャ	ッ	タ	ー:	自動巻上げ式 1/40 および 1/200 秒				
フ	ラ	ッ	シ	ュ	シ	ン	ク	ロ:	X 接点内蔵
フ	ァ	イ	ン	ダ	ー:	逆ガリレオタイプ 0.7×			
焦	点	調	節:	前玉回転式					
絞	り	調	節:	完全自動式					
使	用	フ	ィ	ル	ム:	J 135 パトローネ入り ASA 10~200 のフィルム			
露	出	計	連	動	範	囲:	LV 11.6~17		
フ	ィ	ル	ム	巻	取	り:	ノブの回転による自動巻止め並び にシャッター自動巻上げ		
巻	戻	し:	カメラ底部のクランクハンドル式						
露	出	計:	セレン光電池使用						
外	型	寸	法:	56×132×80 mm					
重	量:	480 g							

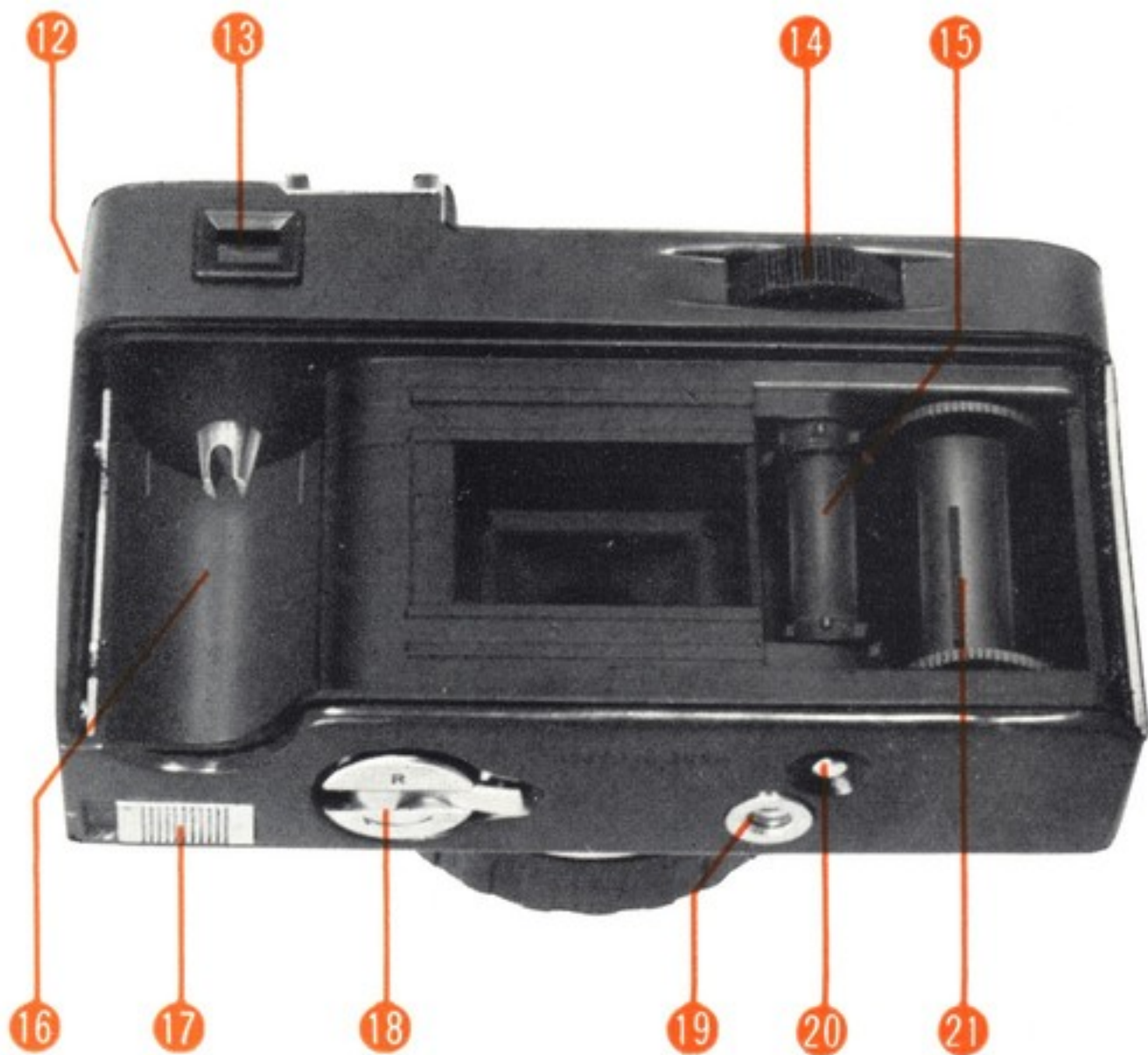
## 目 次

● 部分の名称	2
● フィルムのえらび方	4
● フィルムの入れ方	6
● 撮影の仕方	10
● カメラのかまえ方	12
● フィルムの取り出し方	13
● フラッシュ撮影の仕方	14
● フラッシュ撮影のときの露 光表	17
● フィルムの露光指数とは	19
● シャッタースピードとフィ ルムの露光指数の組合せ	20
● 焦点調節について	21
● スナップマーク	22
● ファインダー	23
● フィルターを使用する場合	24
● 取扱い上のご注意	25

## 部分の名称



- ① カウンターギア
- ② フィルムカウンター
- ③ シャッターボタン
- ④ 絞りリング
- ⑤ 露光指数リング
- ⑥ ゴールドラインおよび赤マーク窓
- ⑦ アクセサリーシュー
- ⑧ ファインダー窓
- ⑨ 受光板
- ⑩ 距離調節ノブ
- ⑪ 距離目盛



## 部分の名称

- ⑫ シンクロ撮影用ソケット
- ⑬ ファインダーのぞき窓
- ⑭ 巻取りノブ
- ⑮ スプロケット
- ⑯ フィルム室
- ⑰ 裏蓋開閉ロック
- ⑱ 巻戻しクランク
- ⑲ 三脚取付けネジ
- ⑳ 巻戻しボタン
- ㉑ フィルム巻取りスプール

## フィルムのえらび方

フジカ 35 オートマジックは、35 mm フィルム (J 135) のパトローネ (フィルムの容器) 入りを使います。

富士フィルムの 35 mm フィルムには、

- |     |             |       |
|-----|-------------|-------|
| (1) | ネオパン F      | 35 mm |
| (2) | ネオパン SS     | 35 mm |
| (3) | ネオパン SSS    | 35 mm |
| (4) | フジカラーリバーサル  | 35 mm |
| (5) | フジカラー R 100 | 35 mm |
| (6) | フジカラー N 50  | 35 mm |



の6種類があり、どのフィルムもフジカ 35 オートマジックに使うことができます。

35 mm フィルムには、両側にパーフ



パトローネ入りフィルム

レーションと呼ぶ送り穴があいており、フジカ 35 オートマジックに、このフィルムを入れて写しますと、タテが 24mm ヨコが 36mm の画面が写ります。

富士フィルムの 35mm フィルムには、20 枚撮り (20 EX と外箱に書いてあります) と、36 枚撮り (36 EX) とがあり、ご近所の写真材料店にあります。

ふつうに写すときは、ネオパンSSをおもに使い、くもりのときなどには、ネオパン SSS が使いよいでしょうし、大きく引伸しをするときには、ネオパンFを使うときれいな写真ができます。

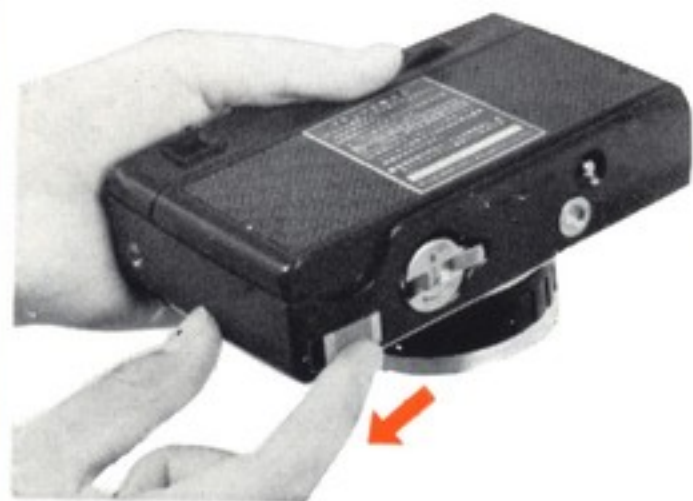
幻灯機で映写して見るカラースライドにはフジカラーリバーサルやフジカラー R 100 を使い、カラープリントを作って、アルバムなどに貼るには、フジカラー N 50 を使います。



## フィルムの入れ方

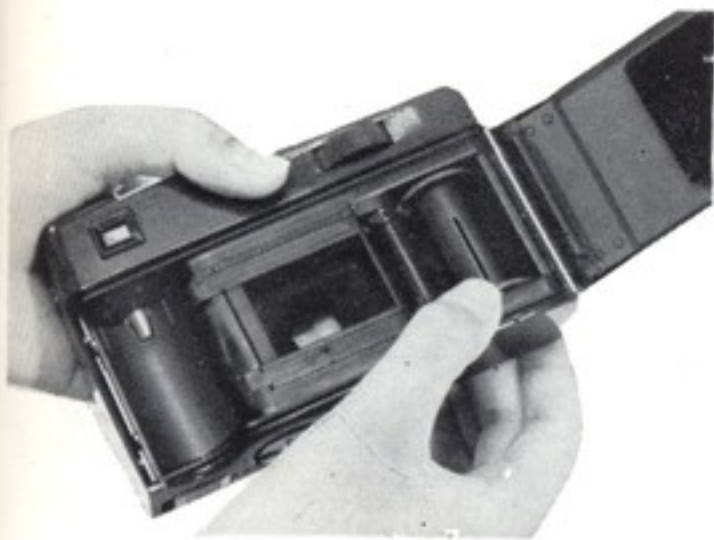
カメラにフィルムを入れるときは、日陰の場所で、注意深くていねいに入れて下さい。不注意な入れ方をすると、途中でフィルムがうまく進まず、撮影ができなくなってしまうことがあります。

写真で示すような方法で、ていねいに入れて下さい。

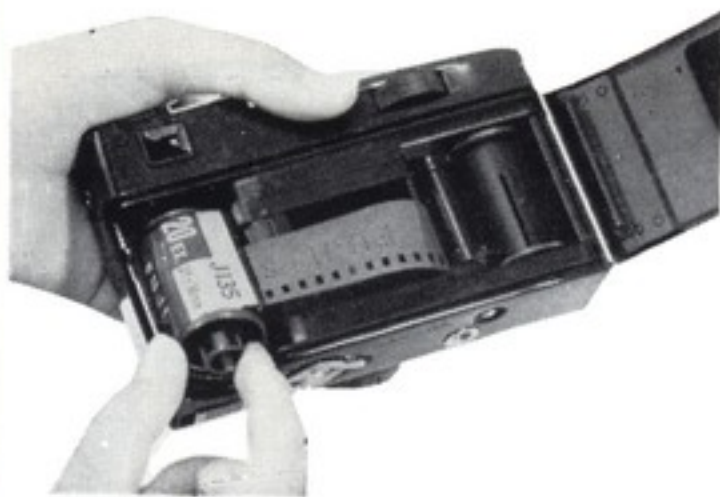


1 カメラの底の裏蓋開閉ロック⑰を、指先で手前に引きますと、裏蓋が浮き上がりますから、裏蓋を完全に開いて下さい。

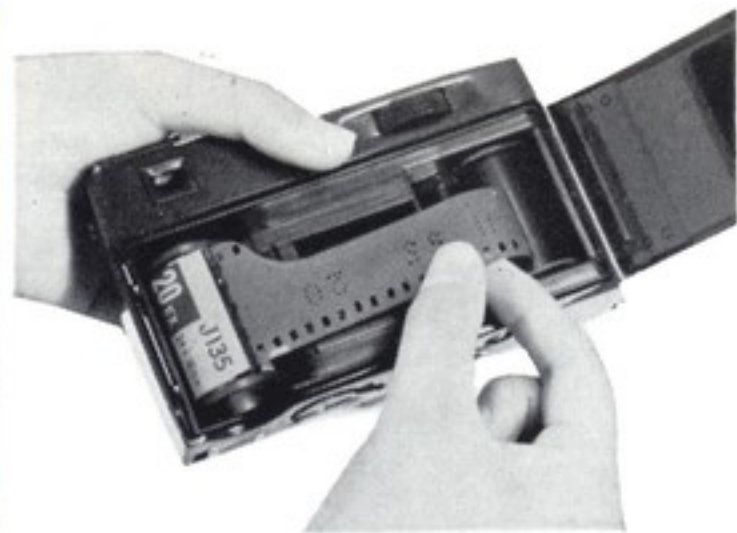




2 親指でフィルム巻取りスプール⑳を回して、フィルムさし込み溝を真上に向けます。

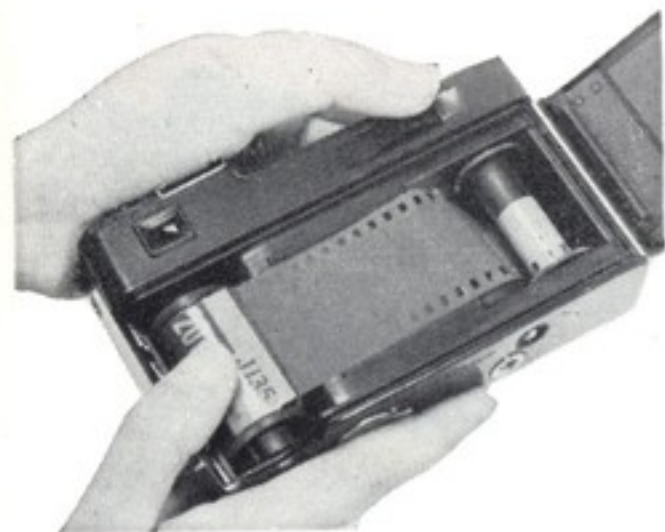


3 パトローネの軸が出ている方を、カメラの底部に向けて、フィルム室⑱にはめ込みます。

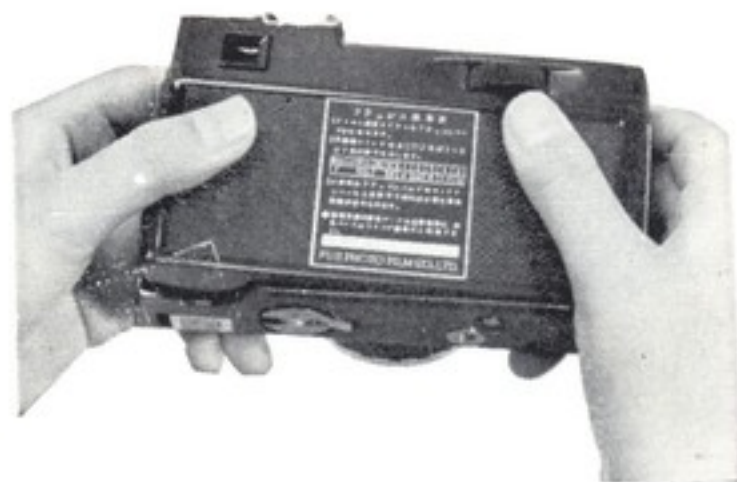


4 フィルムの先を、巻取りスプール⑳の右側にぴったり寄せて、フィルムさし込み溝にさし込んで下さい。

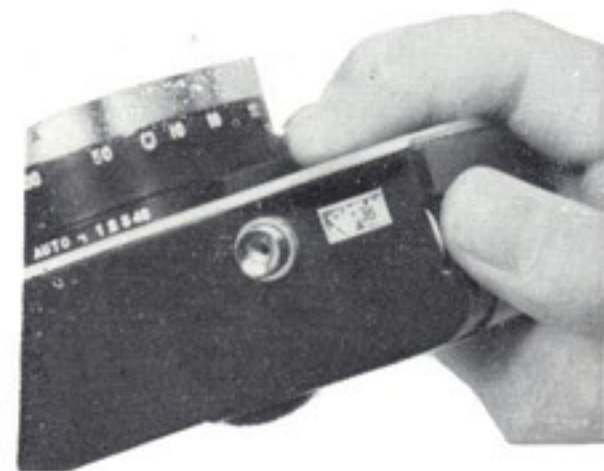
フィルムの先端が、さし込み溝の反対側から、少し出るくらいにさし込んで下さい。



5 パトローネを軽くおさえて、フィルムの両側のパーフォレーション（送り穴）が、スプロケット⑮の歯にかみ合わさるまで、巻取りノブ⑭を、親指で静かに回します。巻取りノブは、自動的に一コマ分送ると止り、シャッターボタン③を押さないと、次のコマまでフィルムが巻取れないようになっています。



6 裏蓋を閉じて、写真のように軽く押しますと、止め金が掛り開かなくなります。



7 カメラ側面のカウンターギア①を手前に回して、カメラ上部のフィルムカウンター窓②の赤い▲に“S”（スタートマーク）を合わせます。



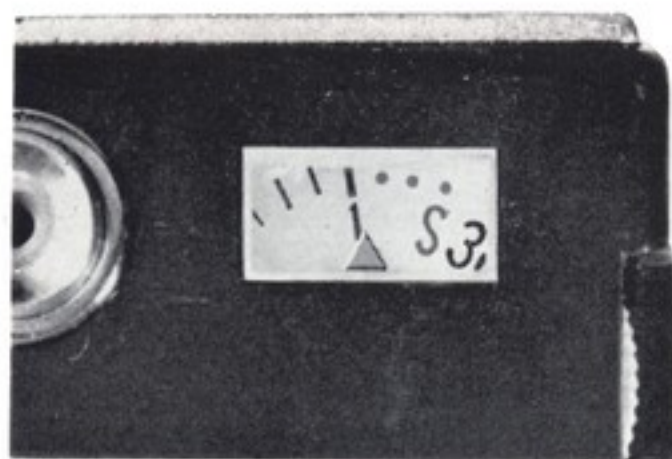


8 なおフィルムを巻上げる前に、巻戻しクランク⑱を起して、矢印の方向に回し、フィルムを張っておきますと、巻取りノブ⑭を回すにつれて、このクランクが回りますので、フィルムが、正しく巻取られていることがわかります。

もしも、巻戻しクランク⑱が

回らないときは、フィルムの先が、巻取りスプール⑳からはずれているかもしれませんから、裏蓋を開いて、もう一度やり直して下さい。

フィルムの巻取りをたしかめたら、巻戻しクランク⑱は、元の位置に戻しておきましょう。



9 フィルムカウンター②の赤い▲に、“1”がくるまで巻いて下さい。

巻取りノブ⑭を回したとき軽い抵抗を感じますが、確実に止まるまで回して下さい。

これで撮影の準備が終わりました。

1 絞りリングを AUTO  
に合わせる



絞りリング④を回して、  
AUTO の 1 目盛を▼印に合わ  
せます。

2 フィルムの感度を合わ  
せる

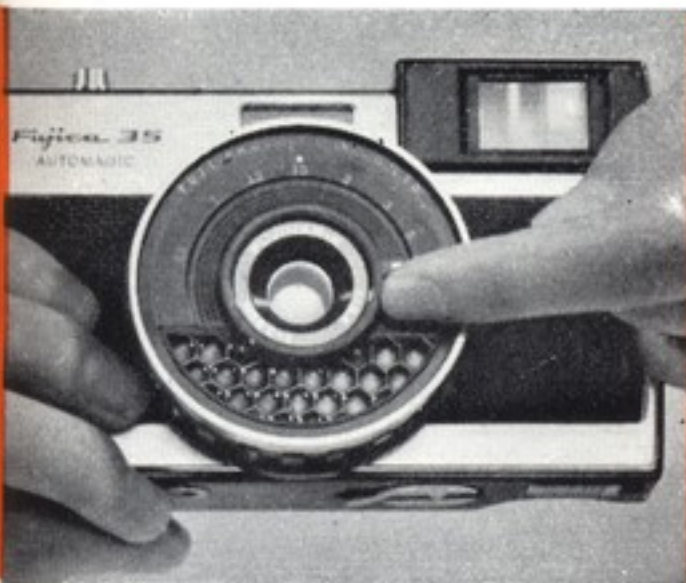


露光指数リング⑤を回して、  
▼印にフィルムの感度（露光指  
数）を合わせます。

フィルムの感度は外箱に JIS  
とか ASA という記号がついて  
表示されています。

富士フィルムの感度は、19ペ  
ージを参照して下さい。

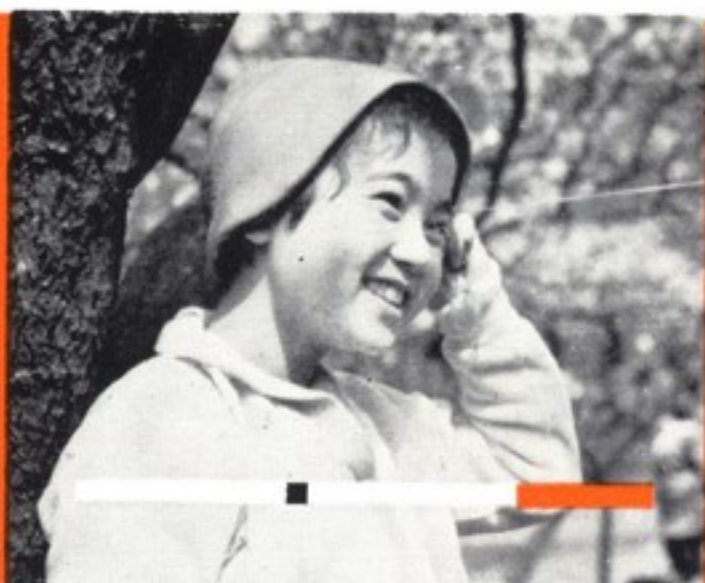
### 3 距離を合わせる



距離調節ノブ⑩を回して、カメラから被写体までの距離を、指標に合わせます。

被写体までの距離は、カメラ内部のフィルム面からの距離で、アクセサリシュー⑦上の⊖は、このフィルム面の位置を示しています。

### 4 露光をチェックする



ファインダーをのぞいて、露光指針の影が、ゴールドライン（金色の線）の中にあるのを確かめます。

露光指針の影が、赤マークの範囲にある場合は、露光不足になりますからフラッシュ撮影に切替えて下さい。

### 5 シャッターを切る



カメラを正しく構え、シャッターを切る瞬間にカメラが動かないように、心をしずめてしずかに押します。

★フラッシュ撮影については、14ページをご覧ください。

## カメラのかまえ方

きれいな写真を撮るコツは、カメラブレをしないようにカメラをしっかりと構え、ファインダーを正しくのぞいて、シャッターをしずかに切ることです。

カメラの構え方は、写真のように、ヒジをしっかりと胸につけてかまえるのが正しい方法です。

写すときには、写す人が太陽を背にしてカメラを向けるのがふつうです。

もし太陽に向かってカメラを向けるときは、太陽の光が直接撮影レンズに入らないように注意しましょう。

直接光が入りこむと、うまく写らないことになってしまいます。

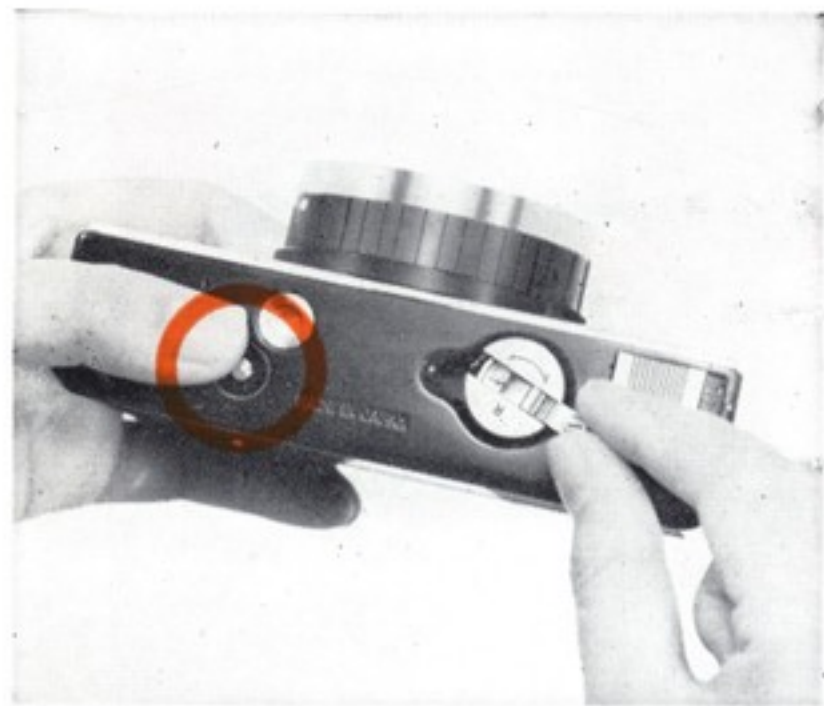


## フィルムの取り出し方

撮影がおわり、カメラからフィルムを取り出すときも、日陰の場所で、次の要領で取り出して下さい。

このとき、レンズにはキャップをはめておいた方が安全です。

1. カメラ底部の巻戻しクランク⑱を起こします。
2. カメラ底部の巻戻しボタン⑳を、十分押し込みながら、巻戻しクランクを、矢印の方向に回します。
3. フィルムが全部巻戻されると、巻戻しクランクの回転が、急に軽くなりますから、裏蓋を開いてフィルムを取り出して下さい。



## フラッシュ撮影の仕方

ファインダー内の露光指針の影が、赤マークの範囲にあるときは、露光不足のくらい写真になりますから、フラッシュ撮影をご利用下さい。

フジカ 35 オートマジックには、フラッシュ撮影用のシンクロ接点があり、内蔵されていますから、簡単にフラッシュシンクロ撮影ができます。



フラッシュシンクロ撮影というのは、シャッターを押すと同時に閃光電球が発光して、夜間でも撮影のできる同調発光装置を用いた撮影のことです。

ご近所の写真材料店で、この発光装置を求めることができます。その接続コードを、フジカ 35 オートマジックの側面のシンクロ撮影用ソケットにつなげばよいのです。閃光電球は市販の有名メーカー品を使用することがたいせつです。



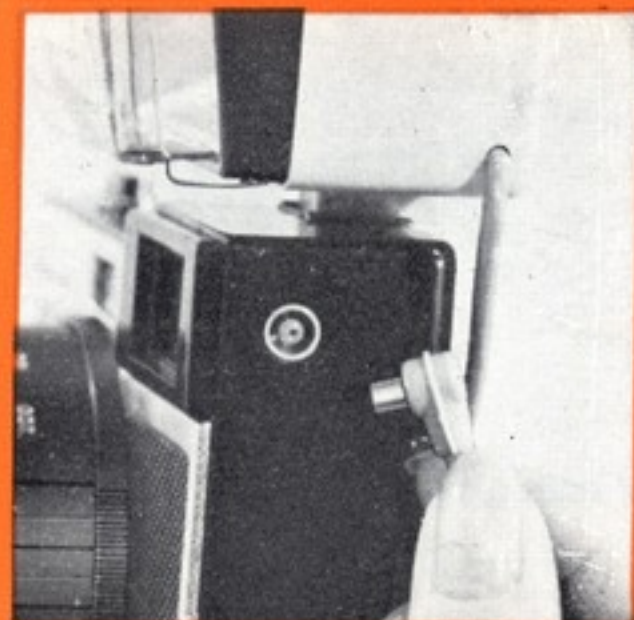
1. アクセサリーシュー⑦にフラッシュガンを取付けて、その接続コードの先端のプラグを、カメラ側面のシンクロ撮影用ソケット⑫に差込みます。

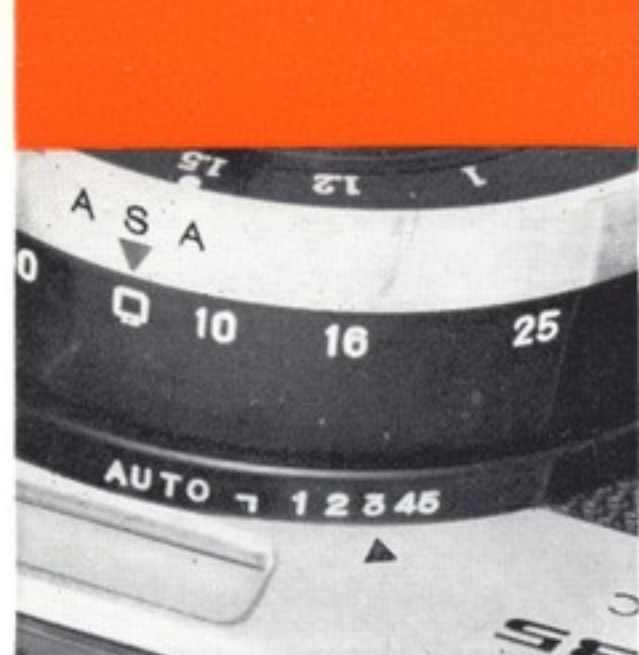
2. フラッシュ撮影のときは、ご使用フィルムの感度（露光指数）に関係なく露光指数リング⑤を回して、フラッシュマーク□を▼印に合わせます。

3. ご使用のフィルムに同封された説明書で、電灯光の露光指数を調べて下さい。次に閃光電球に付属しているガイドナンバー表から、上記の露光指数に対するガイドナンバーを見つけます。

ガイドナンバーを閃光電球から被写体までの距離で割れば、適正露光を与えるレンズの絞り値を求めることができます。

$$(\text{ガイドナンバー}) \div (\text{距離}) = \text{絞り値}$$





4. 適正な露光の絞り値がわかりましたら、次の表により絞りリングの数値に、おきかえて下さい。

絞り値 (F No.)	3.4	4	5.6	8	11	16
絞りリング No.	AUTO	1	2	3	4	5

絞りリング④を回して、上表によって求めたNo.を、▼印に合わせます。

5. 距離調節ノブ⑩を回して、カメラから被写体までの距離に合わせます。

6. フラッシュガンに閃光電球をはめ込みます。

7. これでシャッターボタンを押しますと、室内でも適正な露光のきれいな写真が写ります。

フラッシュ同調表

シャッタースピード	閃光電球の種類	
	F 級	M 級
$\frac{1}{40}$ 秒 (□)	完全同調	使用可能

## ● フラッシュ撮影のときの露光表

一例として、ネオパン SS フィルムに東芝、またはナショナルの極小型フラッシュバルブ（ベースレスタイプ）を使用する場合のバルブから被写体までの距離と、絞りリング No. との関係を下表に記します。

フラッシュバルブから被写体までの距離の表

単位：m

フラッシュバルブ	フラッシュガン	絞 り リ ン グ No.					
		AUTO	1	2	3	4	5
東 芝 US-1 (ガイドナンバー38)	東芝BC発光器US型	11~9	9~7	7~5	5~3	4~2	3~1.5
ナショナル ミゼットMX-1 (ガイドナンバー41)	ナショナル製フジ カ35専用発光器	12~10	10~8	8~6	6~4	4~2	3~1.5

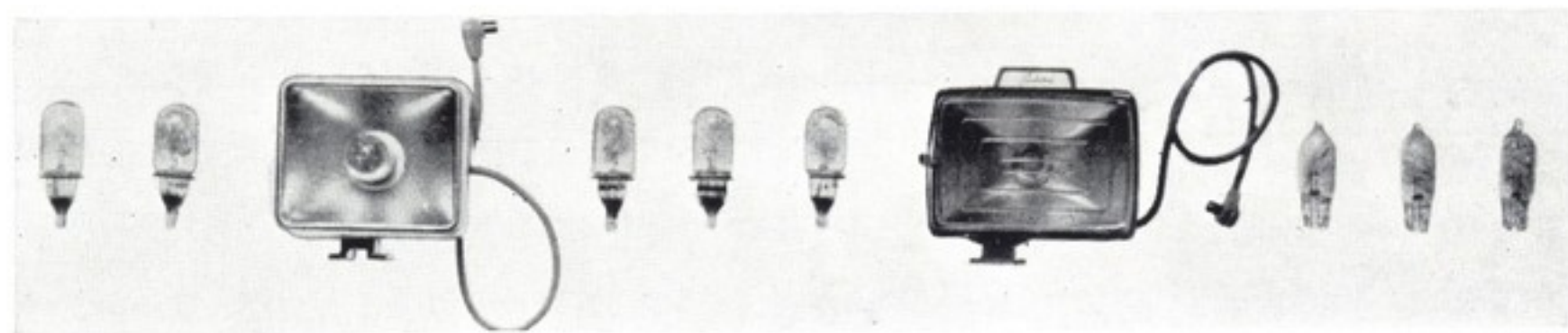
カラーフィルムを使うときは、ブルーバルブ（青色に染色されたフラッシュバルブ）を用います。下表にフジカラーリバーサルと、フジカラー N 50 を用いた時の一例を

記します。なお、ブルーバルブは MX-1B のようにその記号のあとに“B”の字を加えて区別しています。

ナショナル MX-1B を使ったときのフラッシュバルブから被写体までの距離の表

単位：m

フィルムの種類	絞 り り ン グ No.					
	AUTO	1	2	3	4	5
フジカラーリバーサル (ASA 10)	4~3	3~2.3	2.3~1.6	1.6~1.1	1.1~0.8	0.8~0.6
フジカラー N 50 (ASA 50)	8~6	6~5	5~3.2	3.2~2.3	2.3~1.6	1.6~1.2



## フィルムの露光指数とは

フィルムが光に感じる力を感度とよんでおり、それを記号で表わしたものが露光指数です。富士フィルムの露光指数は次の通りです。

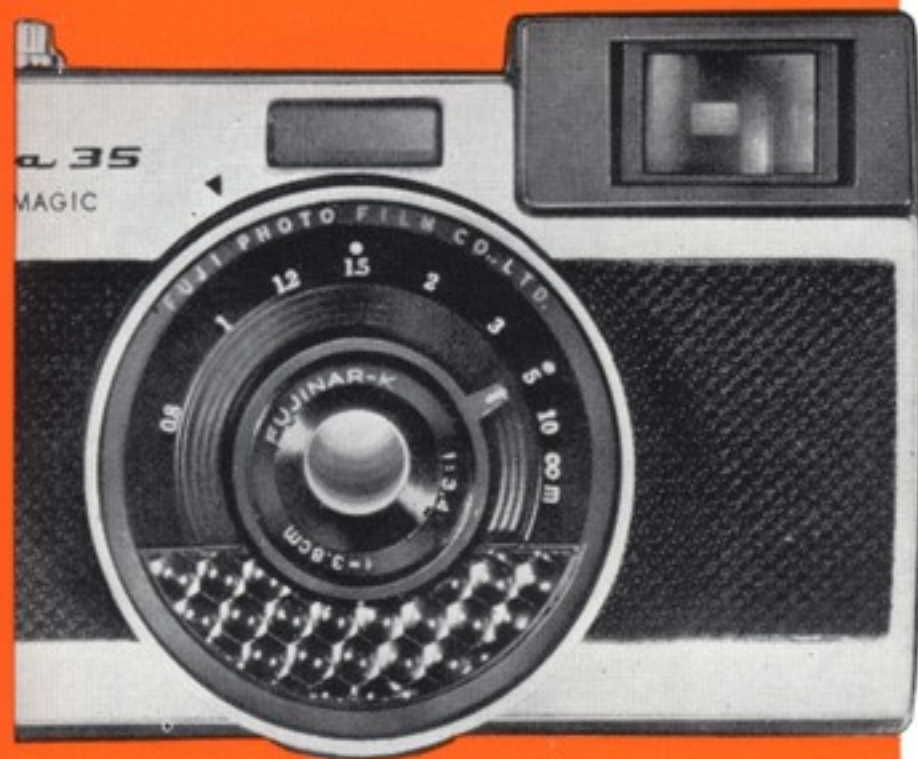
フ ィ ル ム 名	昼 光	電 灯 光
ネ オ パ ン F 35 mm	32	25
ネ オ パ ン SS "	100	80
ネ オ パ ン SSS "	200	160
フ ジ カ ラ ー リ バ ー サ ル "	10	—
フ ジ カ ラ ー N 50 "	50	50
フ ジ カ ラ ー R 100 "	100	—

## シャッタースピードとフィルムの露光指数との組合せ

フジカ 35 オートマジックのシャッタースピードは  $\frac{1}{40}$  秒と  $\frac{1}{200}$  秒の 2 種類で、フィルムの露光指数と関連しており、露光指数リングを回すことにより、自動的に切り替わるようになっております。

その組合せは次の通りです。

フィルムの露光指数	10 16 25 32 40 □	50 100 160 200
シャッタースピード	┌─── $\frac{1}{40}$ 秒 ──┐	┌─── $\frac{1}{200}$ 秒 ──┐



## 焦点調節について

フジカ35オートマジックの撮影レンズは、フジナー K 1:3.4  $f=38\text{ mm}$  (3群3枚構成)で、比較的短い焦点距離なので被写界深度が深く、開放絞りのときでも、目測による距離の推定でも十分安心して、撮影できるよう考慮してあります。

## ● スナップマーク

このようにフジカ35オートマジックは、被写界深度が深いので、一々距離を合わせ直さなくても、ポートレートや街頭のスナップ撮影などの場合には、距離調節ノブ⑩を赤点（5 m）に合わせておけば、開放絞りでも2.5 mから無限遠まで、ピントが合って写りますので便利です。

同じようにクローズアップ（近接）撮影の場合には、黄点（1.5 m）に合わせておくと、1.2 m から2 m までピントが合う範囲となります。



2.5 m ~ ∞



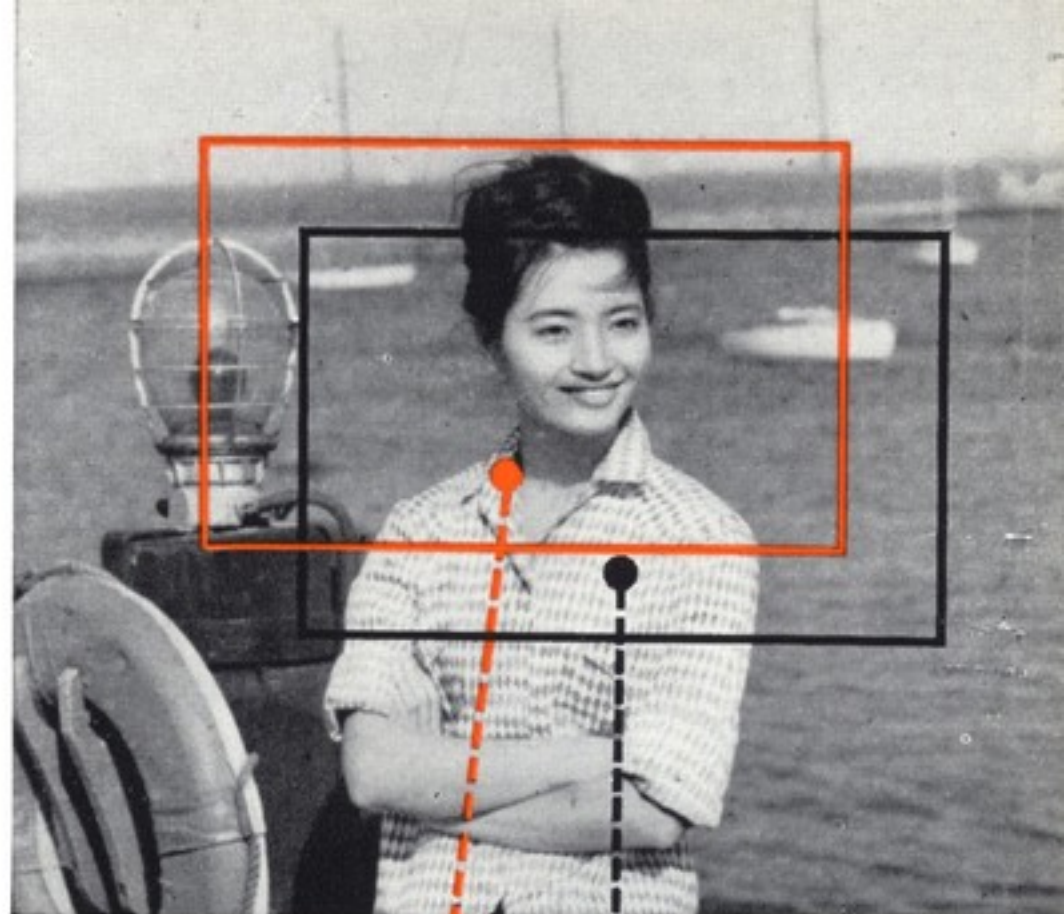
1.2 m ~ 2 m



## ファインダー

フジカ35オートマジックのファインダーの視野は、撮影できる範囲の約85%がみえるようになっていて、眼鏡を掛けた方にもみやすいように、大きな接眼レンズが使われております。

クローズアップ（近接）撮影（0.8～1.2 m）の場合は、パララックス（視差）とって、ファインダーに見える範囲とフィルムに写る範囲とが少しズレますので、あらかじめファインダーの上部と左側を、少しあけて撮影して下さい。



## フィルターを使用する場合

フィルターは径 24mm、ピッチ 0.5mm の、ネジ込み式のものをもちいます。

濃いフィルターを使用するときは、被写体がフィルターで暗くなりますから、露光を増してやる必要があります。

フィルターと使用するフィルムとで、露光倍数というものがありますから、露光倍数によって露光指数リングで調節して下さい。

### 露光倍数の一例

#### ネオパンSSの場合

フィルターの種類	露光倍数
U V	1.0
Y 1	1.2
Y 2	1.5
Y 3	2.0

- (例 1) UV・Y1 フィルター使用の場合には、露光倍数を考慮せず普通に撮影して下さい。
- (例 2) ネオパン SS フィルム (ASA 100) を使用して、Y2 フィルターを付けた場合は、露光倍数が 1.5 ですから、露光指数リングを 50 と 100 の中間にセットして下さい。
- (例 3) ネオパン SS (ASA 100) で、Y3 フィルターを使用するときは、露光倍数 2.0 ですから、露光指数リングを 50 にして下さい。

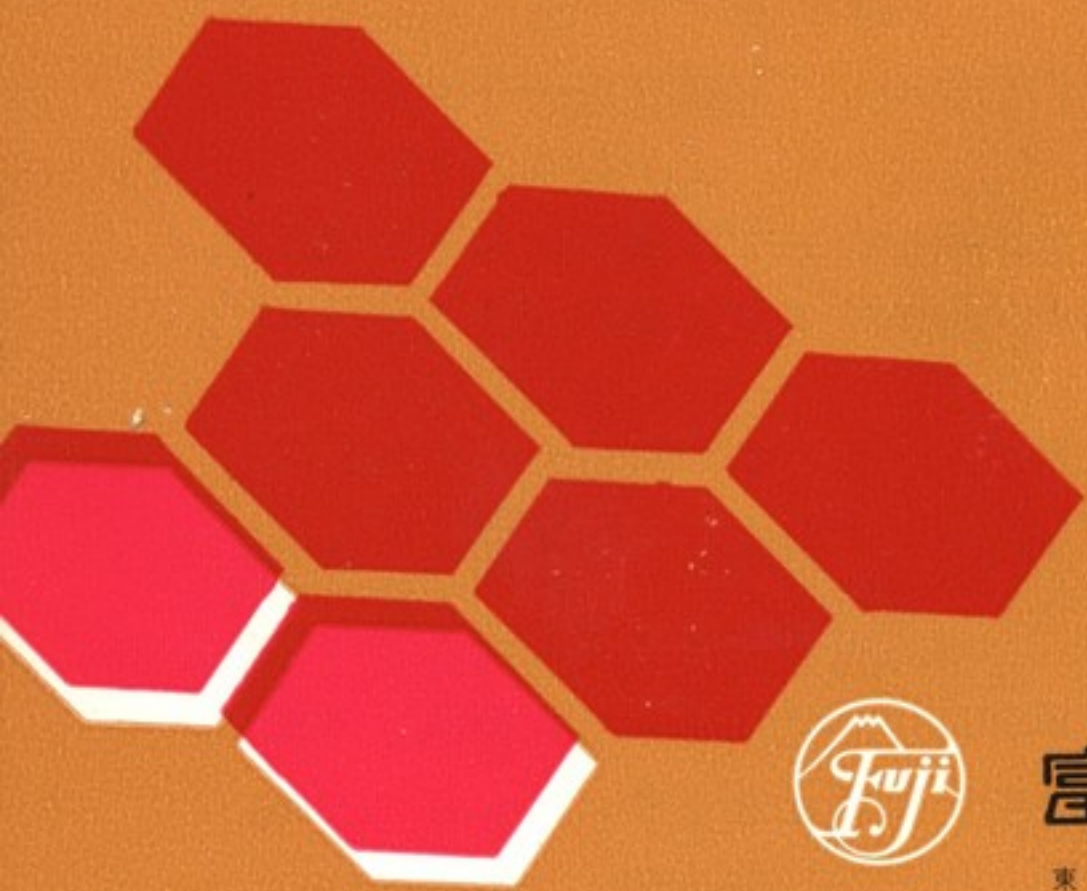
## 取扱い上の ご 注 意

① フジカ 35 オートマジックは、レンズが奥にあって、レンズの前枠が、フードの役目をしていきますからフードは不要です。

大きなレンズフードを取付けますと、露出計の受光部が陰になって、正しい露光が得られなくなる恐れがありますので、ご注意ください。

② ご使用後の清掃については、特にレンズの場合、柔らかく清潔な刷毛または布で、軽く埃をはらう程度にして下さい。もし指紋などのついた場合には、洗いざらした清潔な木綿にアルコールを少量つけて軽く拭きとります。

③ 露出計の受光部、ファインダーも、レンズと同様に手入れをします。なお、受光部にはアルコール以外の溶剤を使わないで下さい。



# 富士写真フイルム株式会社

東京都中央区銀座西2の3

電話 東京(561)8551・8741(代)

東京出張所	東京都中央区銀座西1の1先 高速道路紺屋区路下室2階	電話 東京(561)8551・8741(代)
大阪出張所	大阪市東区備後町4の15	電話 大阪(202)0231(代)
名古屋出張所	名古屋市中区南伊勢町2の8	電話 名古屋(24)4447~9
福岡出張所	福岡市行町54	電話 福岡(2)1126~8
札幌出張所	札幌市大通り西5の11 大五ビル内	電話 札幌(2)2002・5582・8783

サービスステーション 富士フォトサロン	東京都中央区銀座西5の4	電話 東京(571)8017
サービスステーション 大阪富士フォトサロン	大阪市東区備後町4の15	電話 大阪(202)0231(代)